

宇宙開発の現状報告

(平成 18 年 12 月 19 日(火) ~ 平成 18 年 12 月 25 日(月))

平成 18 年 12 月 25 日
宇宙開発委員会事務局

宇宙開発委員会の動き

12 月 21 日(木)

- 第 4 回計画部会宇宙科学ワーキンググループ
【松尾委員、青江委員、野本委員】

宇宙開発に関する国内の動向

12 月 25 日(月)

- 技術試験衛星 型「きく 8 号」、ドリフト軌道へ投入
【独立行政法人宇宙航空研究開発機構】

宇宙航空研究開発機構(JAXA)は、12 月 24 日までに技術試験衛星 型「きく 8 号」(ETS-)のアポジエンジンを 4 回噴射し、ドリフト軌道に投入する作業を行った。

第 4 回アポジエンジン噴射後の衛星の軌道計算を行った結果、同衛星が所定のドリフト軌道に投入されたことを確認した。

今後、2 つの大型展開アンテナの展開を 12 月 25 日 17 時頃から約 7 時間にわたり実施する予定

12 月 20 日(水)

- コスモス 3M ロケット、偵察衛星の打ち上げに成功 【独】
12 月 19 日(火)14 時 0 分(世界標準時)、ドイツ OHB システム社は、ロシアのプレセック射場よりコスモス 3M ロケットを打ち上げ、ドイツの軍事偵察衛星「SAR-Lupe」1 号機の所定の軌道投入に成功した。打ち上げ時の質量は約 720 kg。
「SAR-Lupe」は合成開口レーダー(SAR)により観測を行うドイツで初めてのレーダ観測衛星で、5 機予定されているシリーズの最初の 1 号機となる。

- 米連邦航空局(FAA)、商業有人宇宙飛行規則を発表 【米】
12 月 15 日(金)(現地時間)、米連邦航空局(FAA)は、商業有人宇宙飛行のための規則「Human Space Flight Requirements for Crew and Space Flight Participants」を制定したと発表した。この規則は、2004 年 12 月に成立した商業宇宙打上げ改正法において策定することが求められていたものであり、宇宙旅行全般のリスクや打ち上げ機固有のリスクの説明等、安全に関する情報を乗客に提供することや、試験飛行を含む、打ち上げ機のハード及びソフトウェアの総合性能を検証することなどを、打ち上げ業者に対して求める内容となっている。

- 韓国国家宇宙委員会、第一回会合を開催 【韓】
12 月 19 日(火)(現地時間)、韓国の宇宙開発政策を審議する国家宇宙委員会(委員長:キム・ウシク副首相兼科学技術部(MOST)長官)の第一回会合がソウルで開催された。同委員会

は、2005年12月に施行された「宇宙開発振興法」に基づき設置された大統領直属の組織で、MOST 長官を委員長とする14名の委員からなり、国家の主要な宇宙開発計画並びに事業を審議することとされている。今回の第一回会合では、韓国の「宇宙開発中・長期基本計画」(1996年から2015年までの20年間の計画)に基づき行われている衛星・ロケット開発等の宇宙開発の進捗状況や懸案事項の報告が行われた。

P5トラスの取り付け、電力系統の配線の切替え、P6トラスの左舷太陽電池パドルの収納などを行った。

12月21日(木)

- カザフスタン、自国の宇宙開発方針等を協議 【カザフスタン】
報道によると、12月13日(水)(現地時間)、カザフスタンのDaniyal Akhmetov 首相を座長とする会議が開催され、同国の宇宙プロジェクトの推進における問題点が協議された。同会議では、主にバイコヌール宇宙基地に駐在しているロシア人要員600名のうち30%を数年以内にカザフスタン人に交代させること等の目標が設定された。
現在カザフスタンでは「カザフスタン国家宇宙プログラム(2005年 - 2007年)」に基づき、通信衛星「KazSat-2」及び「KazSat-3」や地球観測衛星「DZZ 1」及び「DZZ 2」の製造等、8分野のプロジェクトが実施されている。

12月23日(土)

- スペースシャトル「ディスカバリー号」(STS-116)無事帰還 【米】
12月23日(土)7時32分(日本時間)、スペースシャトル「ディスカバリー号」(STS-116)は、ケネディ宇宙センターに着陸し、12日20時間44分にわたるミッションを終えた。今回のミッションでは、当初の予定より1回多い合計4回の船外活動を実施し、